

あうる

Treasure every meeting as it's chance
to happen is only once in a life time.

北海道歴史秘話16

明治二十二年

北海道製麻の自家用施設により
北海道最初の電灯が光を灯し、
二年後、札幌電灯舎が札幌の街に
電気の供給を開始した。

札幌電灯舎

日本で最初に電灯が灯ったのは、明治十一（一八七八）年三月二十五日、工部大学校の大ホールで行われた電信中央局の開局祝賀会である。一般庶民が初めて電灯なるものを見たのはそれから四年後の明治十五年。銀座二丁目の東京電灯会社の宣伝用街灯であった。

では、札幌初の電灯はいつかというところ、明治二十二年（一八八九）年一月、北海道製麻株式会社が自家発電で工場を照らしたのが最初といわれている。

そして札幌の街に電灯が灯ったのは、札幌電灯舎（明治二十二年二月設立）が大通西三丁目で電気の供給を開始した明治二十四（一八九一）年十月三十一日。出力五〇KWのエンジン式直流発電機二台を備え、従業員は三人。電灯の明るさは一〇Wほどで、しかも不安定であった。創業者は弘化三（一八四六）年山形生まれの後藤半七。衣類の行商から身を起こし、札幌屈指の大道になったという叩き上げの商人だった。

料金は、日没から午前零時までの半夜灯だと一六燭光（二〇Wより少し明るい程度）で月額一円五〇銭、終夜灯では二円五〇銭であった。当時の一円は今の一万円ほど。決して安いものではなかったため、大会社や旅館などでなければなかなか電灯は引けず、利用者の獲得に苦労した。後藤は『電気という不思議な灯り』をキャッチフレーズに契約を勧誘して歩き、当時札幌で一番の旅館だった「山形屋」と契約第一号。続いて今井

呉服店などの商店や料理店、さらに道庁や郵便電信局との契約にも成功し、開業時の需要戸数は三〇戸、取付け電灯は八三灯となった。

北海道電灯から札幌電灯へ

ところが供給開始後わずか一週間で後藤の資金が底をつき、十一月七日、その事業を北海道電灯会社に譲渡する。北海道電灯は三五馬力二個の汽罐による火力発電を行った。翌年の明治二十五年には、物産共進会などが開催されたこともあって需要は五〇〇灯にまで伸びたが、五月に南三条西四丁目のマッサージを生業とする家から失火、札幌市街地の五分の一にあたる八八七戸が焼失するという札幌大火に遭う。幸い発電所に被害は及ばなかったが、またまた経営苦となり、二十九年、今度は札幌電灯株式会社に電灯事業を引き継ぐ。



大正初期頃の定山溪発電所（北海道大学附属図書館蔵）

白糸の滝にある 定山溪発電所は、道内 最古の水力発電所として 今も稼働している。

札幌電灯は直流だった配電を交流に変更するなどの設備投資を行った結果、契約電灯数が二〇〇以上となり、経営は順調に拡大した。ところが明治三十四年、今度は発電所が火災で焼失し、電気の供給が一箇月止まってしまった。そこでまた身売りである。

札幌電灯から北海電気へ

明治三十八（一九〇五）年、北海電気株式会社が発立され、札幌区で電気供給を行っていた札幌電灯は北海電気譲渡されることになった。翌年、事業継承が認可され、十四年間で四つ目の電力会社となる。市内で発電していたのでは高い電力しかつくれない、と定山溪の豊平川水利権を得て、三十九年から発電所の建設工事に着手した。資材の運搬に苦労しながらも、明治四十年、四〇〇〇kW・一万一〇〇〇Vの交流発電機を設置した定山溪発電所が完成、五月から札幌市内への送電を開始した。この水力発電により電灯料金は大幅に値下げされ、電灯取付け数が爆発的に拡大、六月末に四二四〇個だった白熱灯の需要数が十二月末には八五三一個に激増した。札幌の電気事業は、ここでもうやく軌道に乗った。

北海電気から札幌水力電気へ

発電所が完成すると札幌水力電気株式会社が設立され、明治四十一年北海電気の実業は札幌水電に譲渡された。北海電気は東京在住実業家が設立した企業だったが、札幌水電は札幌の実業家が札幌区民から株主を募って設立したという、まさに地場の企



現在の定山溪発電所

業であった。

札幌水電は当初、札幌区・豊平町・札幌村を事業区域に営業を開始し、大正二年には、札幌区八三八五戸、豊平町二五七戸、札幌村二二戸と電灯は急速に普及していった。しかし、何しろ初期の頃のこと、わずかな風でも電柱は倒れ、ちょっとした洪水でも送電機器が故障するなど、万事がお粗末で、大正二年の大洪水のときには、一箇月以上も運転が休止する始末であった。

そんなこともあって札幌近郊の農村は石油ランプのほうにずっと安いと電灯には消極的で、藻石村・琴似村が大正四年、手稲村・白石村・篠路村・石狩町が大正八年、丘珠村が大正九年、新琴似村が大正十二年に電灯がつくという状況であり、今の栄町方面に至っては、昭和七年になってようやく点灯されるという有様だった。

あつろの杜

ちいさなえほんや ひだまり
青田 正徳さん

Interview

新築寒の住宅地に
ある一軒家の絵本専門
店「ちいさなえほんや ひだまり」。そのオーナーが青田正徳さん。今年で絵本人生33年、「ひだまり」18周年を迎えた青田さんが絵本への想いを熱く語ります。

ちいさなえほんや ひだまり

二七歳のとき児童書出版社の販売代理店に勤め、一五年間幼稚園・保育園を回っているうちにすっかり絵本に魅せられてしまいました。そこを辞めて今年で一八年経ちますから、通算三三年この仕事を続けていることになります。

一九九四年二月、札幌に一軒だけあった絵本専門店が店をたたんでしまいました。札幌に絵本専門店が一軒もなくなるのは残念だったので、三月末に販売代理店の仕事を辞め、西野にある知人の喫茶店の一角を借りて絵本を並べ、ちいさなえほんやを始めました。私の誕生日であり、またアンデルセンの誕生日でもある四月二日がスタートの日でした。いまの一軒家に移ってきたのは九六年の一〇月。畳の部屋があるので、「靴を脱いでくつろいで」本を選んでもらえます。絵本は、自分の家でゆっくりくつろぐように、普段着の状態を楽しめるほうがいいですから。

絵本の世界

絵がお話を語るのが絵本です。文章が長いと説明の文章になってしまう。絵に語らせるために文章はあらずじぐらいのところまで止めておかなければダメ。書き過ぎると、絵が無くてもお話が分かつ

どの絵本を選ばいいか？それは…



青田正徳
あおたまさのり

遠軽町出身。絵本出版社の代理店に勤めたあと、94年に絵本専門店を開店。96年に手稲区に移転。
道内各地の幼稚園、保育園、図書館等での講演活動を通して、絵本の魅力を広く伝えている。テレビ・ラジオへの出演、雑誌・新聞での執筆などでも活躍中。
住所/札幌市手稲区新築寒3条4丁目3-20
TEL・FAX 011-695-2120
金・土・日・月曜・祝日
10時～19時営業



絵本にはだんだん面白くなって

よい絵本とは

てしまい、絵をじっくり見ずに終わってしまいます。読んでくれている人の言葉を耳に入れながら絵を見ていると、絵と文がひとつになつてどんどん立体化していく。私は、肉体化していくと言っているんですが、絵と文でひとつの世界を創るという、絵本独特の世界がだんだん理解できるというか、感じられるようになってくるんですね。心理描写も文章ではなく、絵から感じ取るようになってくると、どんどん面白くなってきます。

くるものと、何回も読んでいくうちにつまらなくなってくるものがあります。一回目は結構面白そうだと思うけれども、二回、三回読んでいくと、だんだん飽きてくる。絵本の八割は駄作だと、私はハッキリ言っています。読めば読むほどつまらなくなる。本当にいい作品は、何回も読むうちに、見えなかった絵の部分のいろいろな意味が見えてくるんです。子どもはいい絵本だと同じものを何十回、何百回と持ってきます。親がいいと思つて与えても、子どもが全然見向きもしない本はダメ。

どの絵本を選ばいいか？それはもう、簡単。分かっている人のところに聴きにいけないんです。それと二〇年以上読み継がれている本には、ひどい本が少なくない。いつ頃出され、刷り数が何刷なのかは、絵本の奥付を見ると分かります。

いい絵本の特徴を私は三つ挙げています。オリジナルティ・リアリティ・ヒューマニティ、この三つをクリアしていなければ、いい絵本にはなりません。

絵本の読者数は減っています。いろいろな出版社が絵本を出しているけれども、定番といわれるものが、いまなかなか読み継がれなくなっています。面白い本が出れば、それより前の作品はドン

ドン捨てられていく。本当の文化はそうではなくて、核になる部分が原点として残っていて、前の本の上に積み重なっていくわけですよ。いま核になり、そこに戻れる場所がありません。ドーナツのように芯が無い。心の指針になるようなものがなかなか無い。昔はあったんです。それが福音館だった、岩波の子どもの本だった。

声に出して伝える

いま注目している絵本作家は、六九年東京生まれの、どい・かや。『チリとチリリ』という絵本で知られていますが、今回、『やまねこのおはなし』という本が出ました。これは本当に優れた絵本なので、読んでもらつて体験して欲しい。そしてぜひ声に出して読んで欲しいんです。黙読では心に響きません。声に出して自分も音を聞いて、その音を体にしみこませながら絵本を楽しんでいくと、もつと深い所まで味わえますから。

絵本はあくまでも優れた絵が語りかける本です。いまあまりにも活字文化になり過ぎ、縛られ過ぎている。語って伝えることで、語ってくれた人の存在を思い出し、語られた中身も思い出す。絵本の一番大事なところは、人がそこに介在する、ということだと思います。

「一番最初!」

最近、日本語に関心を持つ人が多いのか、日本語の問題がいろいろなところで取り上げられるようになりました。かの清少納言も若者の言葉の乱れを嘆いています。言葉は生き物、変化しているから面白いのではないのでしょうか?

いつの時代でも言葉が乱れていると思われるようです。例えば、昭和初期。もともと幕末の志士の流行語であった男言葉の「キミ・ボク」が女学生の間で使われるようになり、文部大臣が女学生の「キミ・ボク」の使用を禁ずると発言したこともあります。また、当時この用法は間違っている、絶対やめるべきだと非難されたのが「超」の使い方です。映画の宣伝に「超大作」という言葉がしきりに使われ、それをまねて三越などのデパートが「超特価」と言い出したのです。「大作」「特価」だけで既に《凄い》ことを表しているのに、更に「超」を付けるのは屋下に屋を架すものに、とても変な言葉なのです。それが今では当たり前に使われています。「一番最初」というのもこの類です。最初「一番」なのにダメ押し。「一番はじめ」なら分かりますが…。

先ほど「とても変なのです」という書き方をしましたが、この「とても」もかつて批判された使い方です。本来「とても」は「とてもできない」「とてもかなわない」などと下に否定を伴う言葉だからです。「とてもきれいだ」などと肯定文のつく言い方が流行し、批判的になりました。芥川龍之介も「こういう使い方は非常に不愉快だ」と記しています。「全然」も下に否定が来るはずなのですが、最近「全然大丈夫」などと肯定が来ても違和感がなくなってきたようです。

O W L I N F O R M A T I O N

子どもの本の展示会

こどもの本 ブックフェア2012

7月28日(土)～30日(月) 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
サッポロテイセンホール (札幌市東区北7条東1丁目 TEL 011-711-4111)
入場無料 お問い合わせ/株式会社トーハン北海道支店 TEL 011-281-5311



児童図書、保育・教育書などから約2万点、合計5万冊もの本が一堂に会するこのブックフェアは、子どもと本の出会いの場として家族連れや教育関係者で賑わい、全国でも年々ピーターが増加しています。会場ではジャンルやテーマ別の分類・展示のほか、学校図書館向けの本も展示します。

「しごとば」の鈴木のりたけさんや「うんこのえほん」の村上八千世さんが来場し、講演やサイン会を行うほか、トリックアートを作るワークショップやしかけ絵本教室など、イベント盛り沢山の3日間となっています。

音楽の感動を…

NHK交響楽団 北海道公演

日本有数の歴史を持つNHK交響楽団(N響)が北海道で公演を行うことになりました。4年ぶりとなる今回の公演は、8月23日から26日の日程で、道内4都市を巡ります。

指揮に尾高忠明さん、ピアノに小山実稚恵さんという日本を代表する二人を迎え、チャイコフスキーと武満徹の名曲をお送りします。世界に誇るN響の演奏を、夏の夕べにお楽しみください。

公演日程

- 旭川公演 8月23日(木)午後7時開演
旭川市民文化会館
- 札幌公演 8月24日(金)午後7時開演
札幌コンサートホールKitara
- 帯広公演 8月25日(土)午後4時開演
帯広市民文化ホール
- 釧路公演 8月26日(日)午後4時開演
釧路市民文化会館



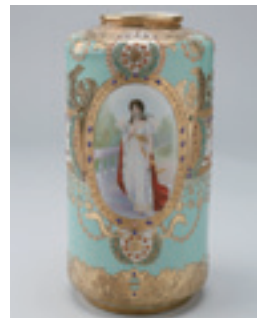
曲目
□武満 徹／ハウ・スロー・ザ・ウィンド
□チャイコフスキー／ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
□チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 作品64
※事情により出演者・曲目・開演時間等に変更が生じる場合があります。

お問い合わせ
NHK交響楽団演奏会北海道公演
ハローダイヤル
050-5541-8600(午前8時～午後10時)
ホームページ
<http://www.nhk.or.jp/sapporo/>

日本が世界に誇る美術工芸品

若林経子コレクションの美 オールドノリタケ 欧米を魅了したニッポンの華

8月4日(土)～9月17日(月・祝) 休館日 毎週月曜日、祝日の翌日(土日の場合は火曜日)
午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで)
江別市セラミックアートセンター 企画展示室(江別市西野幌114-5 TEL 011-385-1004)
観覧料/一般500円(400円) 高大生200円(160円) ※()内は20名以上の団体料金
夫婦800円 ※総合案内にて「夫婦で来ました」とお申し出ください。中学生以下、身障者手帳受給者は無料



金彩ジュール婦人像花瓶 1891年-1911年
若林経子氏 蔵

オールドノリタケとは、1900年代初頭から第二次世界大戦前にかけて、森村組と日本陶器合名会社(後のノリタケカンパニーリミテド)が製作し、主にアメリカ向けに輸出した日本製の洋風陶磁器を指しています。

当時の欧米マーケットの要求に応えた器形・装飾法を取り入れ、日本の伝統技術と洋風美術様式を融合させた独特の芸術世界は、日本が世界に誇る美術工芸品といえるでしょう。

欧米で絶大な人気のオールドノリタケの芸術性と実用性の高さを評価し、国内にその名を広めたのが若林経子氏です。若林氏のコレクションとともに、日本窯業界の黎明とノリタケの優美な世界を紹介します。

おすすめ本

プロ野球審判 ジャッジの舞台裏

山崎夏生・著
北海道新聞社
定価1,365円
(税込)
四六判、272頁
2012年3月刊行



「退場!」宣告17回。異色のパリーグ審判
プロ野球史に残る数々の偉業、そのすべてに審判の判定があります。北大野球部からテスト生を経て審判となった著者の、29年にわたる汗と涙と絆の物語。

流刑地 哭く ～クリスチャン典獄と白虎隊看守長～

若林 滋・著
中西出版
定価1,890円
(税込)
四六判、300頁
2012年4月刊行



「囚人が死ねば経費節約になる」
明治政府は道庁に囚人の強制労働を命じ、酷使しました。北海道開拓史の一大汚点を集治監、監獄を巡る挿話で明らかにします。

